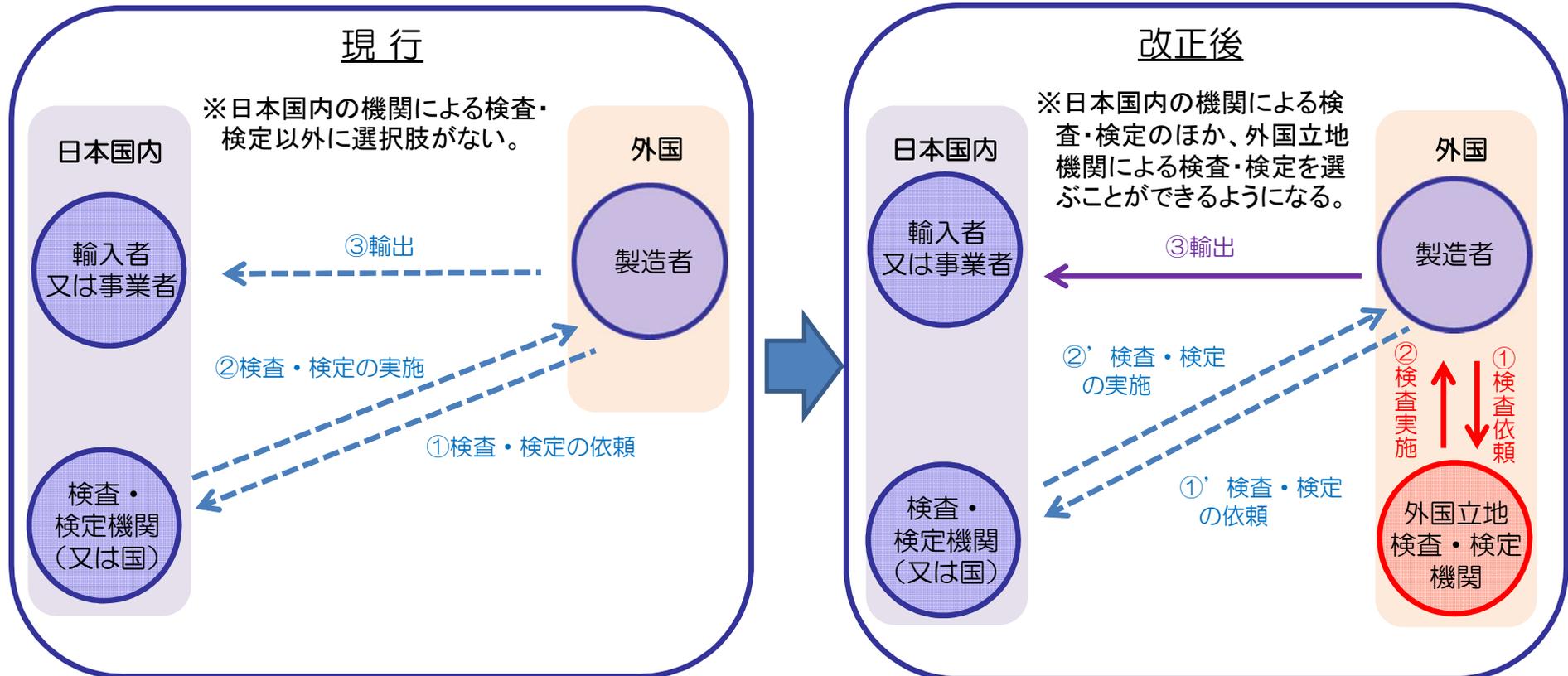


# 外国立地検査・検定機関の登録に係る規定の整備（案）

## 1. 改正案の趣旨と内容

- WTOの場合において、日本における適合性評価機関に関する質問が寄せられており、国際基準を活用するよう促す指摘もある。また、他省庁が所管する適合性評価制度では、外国立地の機関を認め、その法的手当がなされている。
- 労働安全衛生法に基づく検査・検定機関（登録製造時等検査機関等）について、日本国内に立地しないものも対象として認めることとする。あわせて、それに伴い、外国に立地する検査・検定機関による検査・検定の安全性を担保するため、外国に立地する検査・検定機関の登録の取消し要件等について所要の整備を行う。

## 2. 外国において機械等を製造した場合の検査・検定手続きの変更点



# 外国立地検査・検定機関の登録に係る運用体制（案）

## 【基本的な考え方】

- 登録要件や検査・検定の方法については国内の検査・検定機関と全く同じものを課す。
- 登録要件に合致しない場合に適合請求を、検査・検定の義務違反の場合に改善請求を行う。
- 請求や立入検査等を拒んだ場合には登録を取り消すこととする。

※外国立地の検査機関を制度的に認めている電気用品安全法、船舶安全法等と同様の規定

	登録要件、検査・検定の義務等	厚生労働大臣の権限	登録の取消し等
国内立地機関	<p>(登録要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○検査・検定に用いる機械設備</li> <li>○検査・検定員の資格要件</li> <li>○検査・検定を行う指揮・管理体制</li> <li>○第三者性の確保</li> </ul> <p>(登録の更新)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○5年ごと</li> </ul> <p>(検査・検定の義務)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公正かつ労働安全衛生法令の規定に従って検査・検定を行う義務</li> </ul>	<p>(適合命令)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○登録要件に合致しない場合</li> </ul> <p>(改善命令)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○検査・検定の義務違反</li> </ul> <p>(立入検査・報告の徴収)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○強制力あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○欠格事項に該当するに至ったとき</li> <li>○検査・検定等の義務違反</li> <li>○虚偽の届出等がなされたとき</li> <li>○命令に従わなかった場合</li> </ul>
外国立地機関	<p>(その他の義務)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○業務規程等の届出の義務</li> <li>○書類の保存の義務</li> </ul>	<p>(適合請求)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○登録要件に合致しない場合</li> </ul> <p>(改善請求)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○検査・検定の義務違反</li> </ul> <p>(立入検査・報告の徴収)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○強制力はないが、これらを拒んだ場合は取り消しとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○欠格事項に該当するに至ったとき</li> <li>○検査・検定等の義務違反</li> <li>○虚偽の届出等がなされたとき</li> </ul> <p><b>○請求に従わなかったとき</b></p> <p><b>○立入検査等を拒んだとき</b></p>

↑

国内外問わず  
全く同じ要件

↑

請求や立入検査等を拒んだ  
場合を取消し要件とする